



IXIL リフォームシャッター(リフォーム枠 三方枠納まり) 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※内は、ロット No. 表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲警告 …取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

●シャッター本体の外れ・落下のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

・本製品は木造・RC 造用です。躯体が木造・RC 造であることを確認してください。

RC 造に取付ける場合、別途、RC 造用ねじセット(別売品)を手配してください。

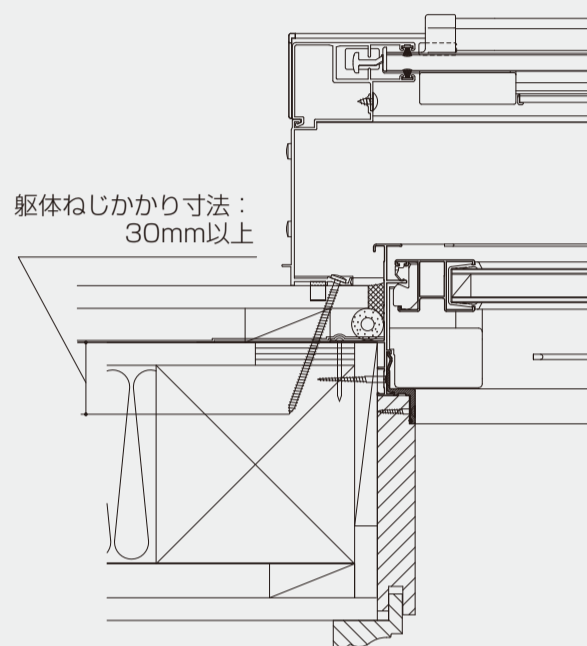
・取付け前に必ず、柱・間柱・窓台の位置・寸法、外壁材・下地材の厚さを建築図面で確認してください。

図面のない場合は打診・壁裏探知器・下地探し針・壁をはがすなどの方法により柱の有無を確認して取付けてください。

・ねじは必ず、躯体に $2.4\text{N}\cdot\text{m}$ { $24\text{kgf}\cdot\text{cm}$ }以上のトルクで締め付けてください。

・躯体へのねじ込み深さは 30mm 以上確保してください。

・製品の強度確保のため、必ず指定のねじを指定の本数で取付けてください。



▲注意

●枠を仮固定するまで手を離さないでください。枠が脱落するおそれがあります。

●漏水の原因になりますので、下記事項をお守りください。

・本製品を取付ける前に必ずサッシの周囲にシーリングされていることを確認の上、取付けてください。

・躯体へのねじ固定は必ず $\phi 3.5$ のドリルで外壁端部から 10mm 以上の位置になることを確認し、下穴をあけてから行ってください。また、ねじ固定は下穴にコーキング材を充てんしたあと行ってください。

・本製品を取付ける際は必ず指定の箇所へシーリングをしてください。

・外枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板のまわりにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。

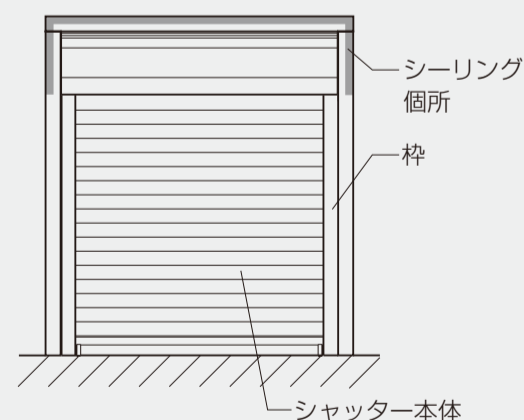
・排水経路がふさがれるため、ボックス(点検口)、ガイドレールの水抜き穴を埋込まないでください。

・枠まわりへのシーリングを行う前にコーキング材がのりやすくなるように下地処理を必ず行ってください。

・形材に張付いているボンドブレーカーは、はがさないでください。

・部材現場付けの場合、外枠と天板・化粧まぐさをねじ止めするねじは、 $2.5\pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$ { $25\pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$ }のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

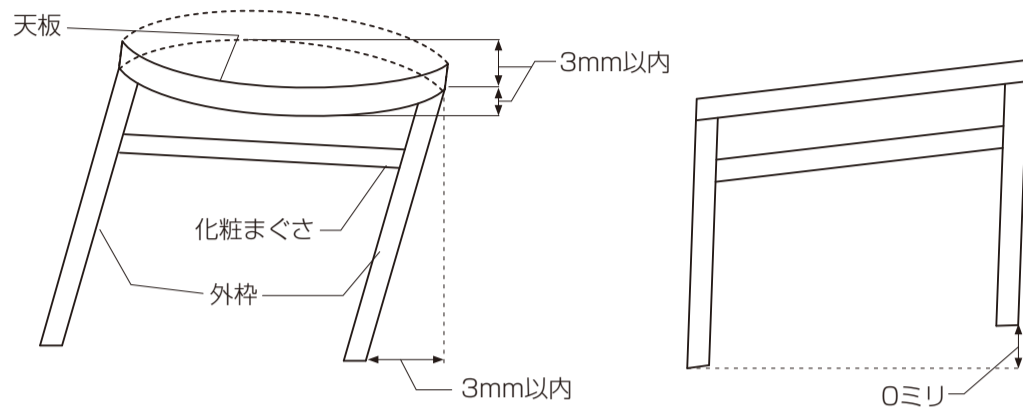
〈シーリング必要位置〉



■取付け上のお願

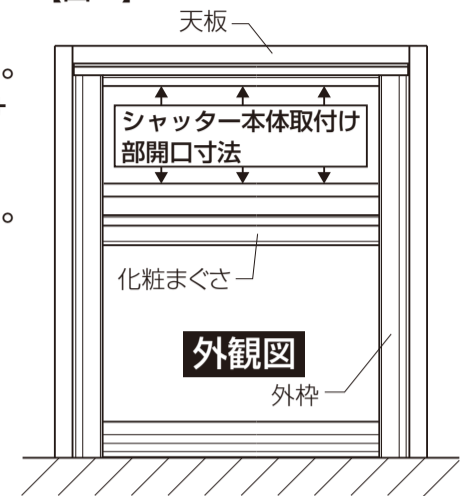
- 枠取付けの際、150mm 程度のビット・ドリルを用意してください。
- 天板・化粧まぐさは水平に取付け、シャッター本体取付け部の開口の寸法がどこを測定しても等しくなるようにしてください。【図 1】
シャッター本体が取付けられなくなり、製品の取付けなどのやり直しが必要となる場合があります。
- 枠の水平・垂直を水準器等で正確に出してください。シャッター作動不良の原因になり、製品の取付けなどのやり直しが必要となる場合があります。【図 2】
- シャッター部分の組立て・取付けについては、シャッター本体同梱の取付け説明書をご覧ください。

【図 2】



- 化粧まぐさは水準器等で必ず、水平を出してください。

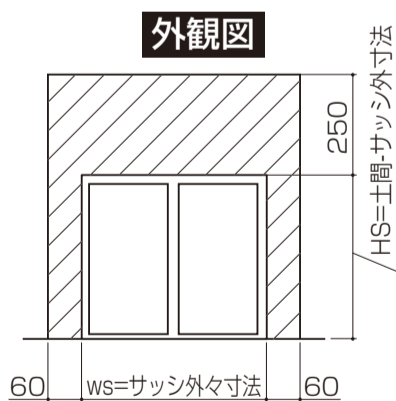
【図 1】



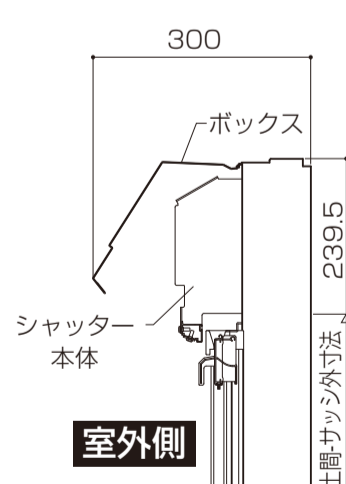
■躯体・外壁材・開口部の確認

- シャッターを取付ける前に下記の内容を確認してください。
 1. リフォームシャッターを取付けるスペースがありますか。本製品を取付けるためには下図（シャッター取付け範囲）斜線部のスペースが必要です。
※開き窓タイプ・RC 造の場合、取付け範囲が大きくなりますのでご注意ください。
 2. 外壁厚みは45mm未満になっていますか。45mm以上ある場合は取付けねじを躯体に十分効かせることができないため、取付けできません。
 3. 外壁の種類は空業サイディング・モルタル壁・RC ですか。その他の外壁には取付けできません。
(金属サイディングの場合はオプションの下地部材をあらかじめ取付けることで、対応可能となります。)
 4. リフォームシャッター取付け面からのサッシ出寸法（網戸含む）は 32mm 以下ですか。32mm 以上ある場合はオプションの下地部材を取付け願います。下地部材を取付けることでサッシ出寸法（網戸含む）99mm まで対応できます。99mm を超える場合は取付けできません。
※ボックス下げ用、下地部材使用時はサッシ出寸法（網戸含む）32mm までの対応となります。
 5. リフォームシャッター固定ねじの位置に躯体はありますか。躯体がない場合は取付けできません。
外壁部分だけで固定することは絶対行わないでください。
 6. リフォームシャッター出幅方向で何かに当たりませんか。シャッターボックスの出寸法はボックス別に下図に示します。シャッター本体の施工およびメンテナンスのため、下図のスペースを確保してください。
 7. リフォームシャッター取付け面は同一面になっていますか。同一面になっていない場合は取付けできません。
 8. リフォームシャッター取付け面に突起物はありませんか。突起物がある場合は取付けできません。
 9. リフォームシャッターの取付け面に著しい不陸はありませんか。著しい不陸がある場合は取付けできません。

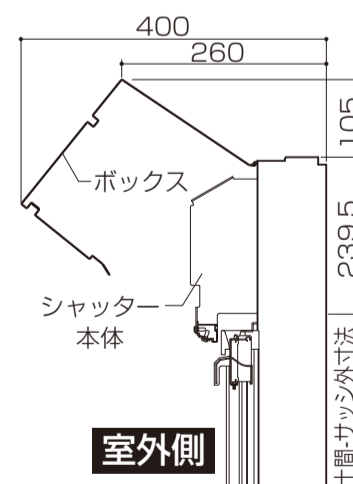
■シャッター取付け範囲



■S型ボックス




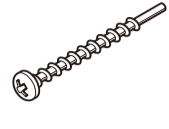
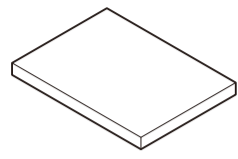
■D型ボックス



■取付け完了時の確認

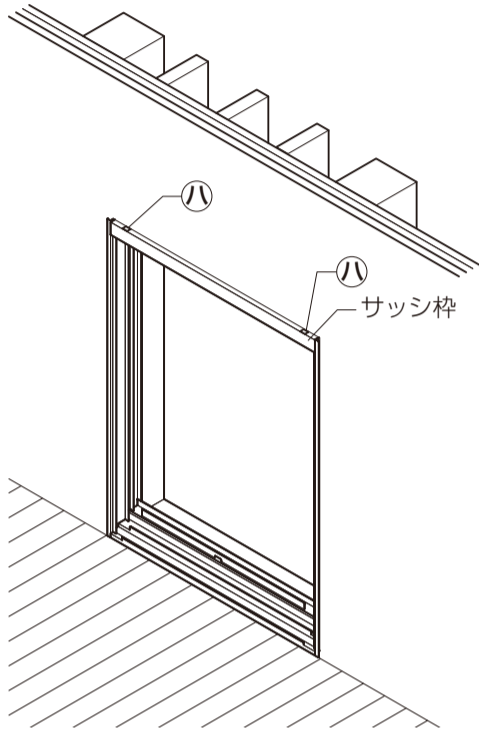
- 取付け後、ねじのゆるみやガタツキ、その他使用上危険な個所がないか、点検してください。

■使用部品・ねじ一覧表

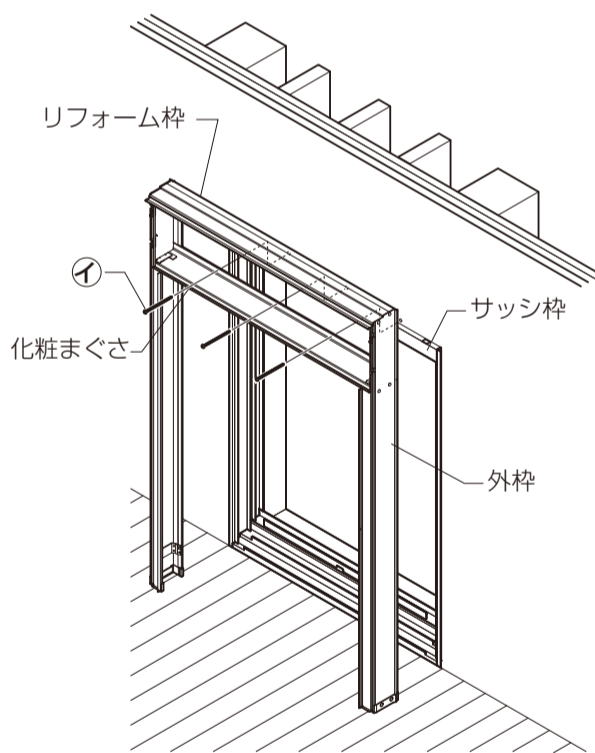
①	②	③
 バインドコーススレッドねじ φ4.2×75	 バインドタッピンねじ φ4×30	 セッティングブロック

■取付け順序 (三方先組みの場合)

1 セッティングブロックの取付け



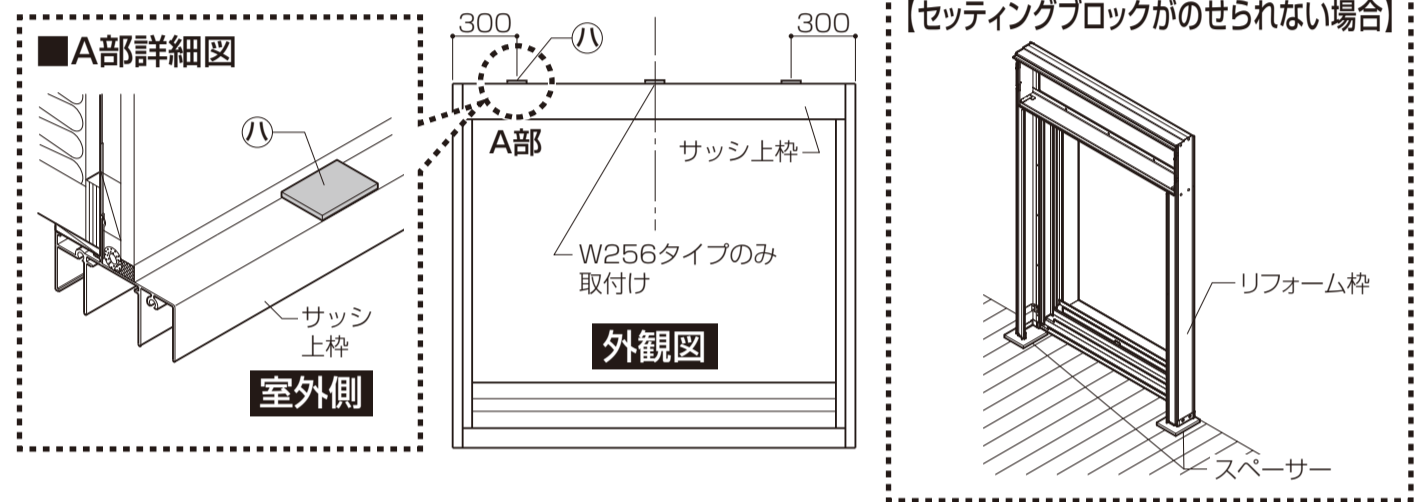
2 化粧まぐさの仮止め



■取付け詳細 (三方先組みの場合)

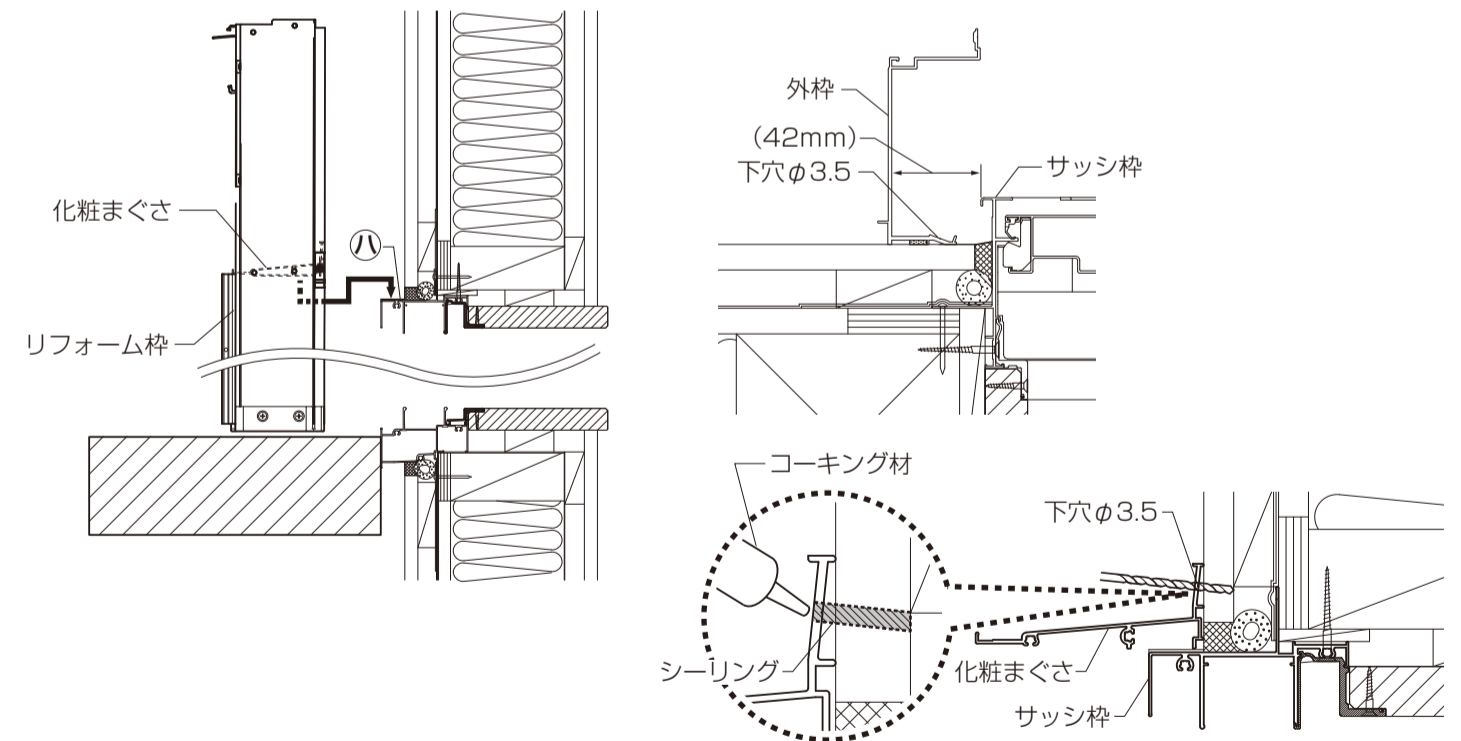
1 セッティングブロックの取付け

- ① ③ セッティングブロックをサッシ上枠の上に下図の位置に合わせてのせます。(必ず上枠の最上段にのせてください)
 ※下地部材を使用する場合は、部材現場付けで取付けてください。(部材現場付けの場合を参照)
 ※内付サッシの場合など、サッシ上枠の上にセッティングブロックがのせられない場合には、図のように5mm以下のスペーサーの上に枠を置いて施工してください。スペーサーは2完了後に取外してください。

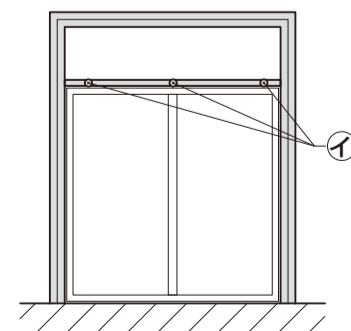


2 化粧まぐさの仮止め

- ① 組立てたリフォーム枠の化粧まぐさを④ セッティングブロックにのせます。
 外枠がデッキ・床面等に当たり、化粧まぐさがセッティングブロックから浮いてしまう場合には、セッティングブロックを重ね張りしてください。
- ② サッシ枠からの左右のチリ寸法を均等にして枠を仮固定します。
- ③ 化粧まぐさの水平を水準器等で確認して化粧まぐさにあいている孔の位置に下穴をけがきます。
- ④ けがきに合わせて壁面にφ3.5の下穴をあけて、コーキング材を充てんします。



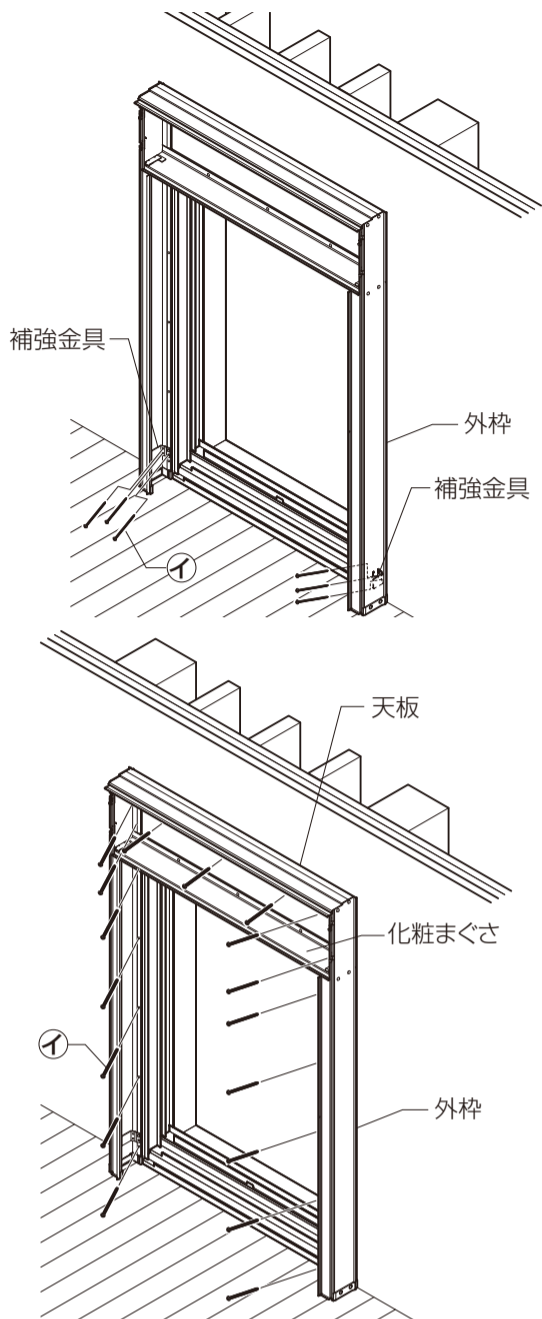
- ⑤ 下穴に① バインドコーススレッドねじを締込みます。



▲ 注意

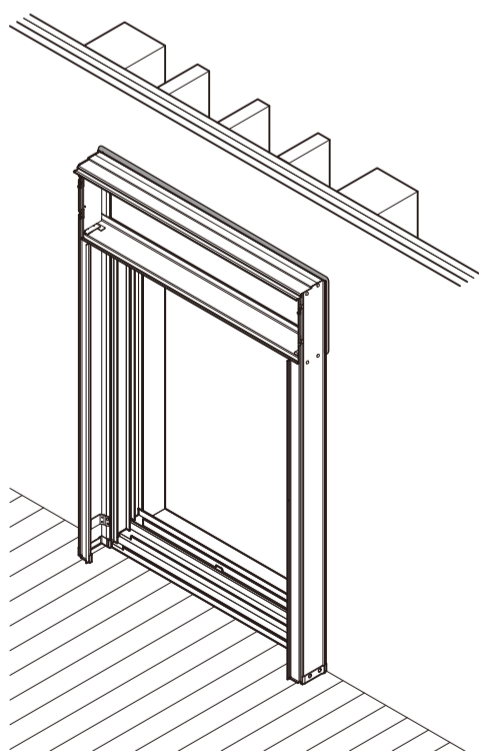
● 仮固定するまで、枠から手を離さないでください。枠が脱落するおそれがあります。

3 リフォーム枠の固定



4 すき間の調整

5 枠まわりのシーリング処理



3 リフォーム枠の固定

以下の工程の前に、レーザー水準器等で垂直方向の墨出しを行ってください。

①外枠を墨出しに合わせた状態で、下部の補強金具の孔の位置にφ 3.5 の下穴をあけ、コーキング材を充てんします。(左右計 6 か所)

※下穴をあける際には外枠を壁面に押し付け、外枠に付いたシール材が完全につぶれていることを確認してください。

②①のバインドコーススレッドねじで補強金具を固定します。

※必ず A 側のねじから固定してください。B 側のねじは A 側のねじの固定が完了後に忘れずに固定してください。

※ B 側のねじは締めすぎに注意してください。枠が開く原因となります。

③固定していない外枠・天板にあいている穴に合わせて壁面にφ 3.5 の下穴をあけ、コーキング材を充てんします。

④穴に合わせて①のバインドコーススレッドねじで固定します。はみ出したコーキング材はきれいにふき取ってください。

※柱、間柱などの位置に合わない場合・既設サッシの固定ねじとぶつかる場合は下穴をあけ直して、取付けてください。

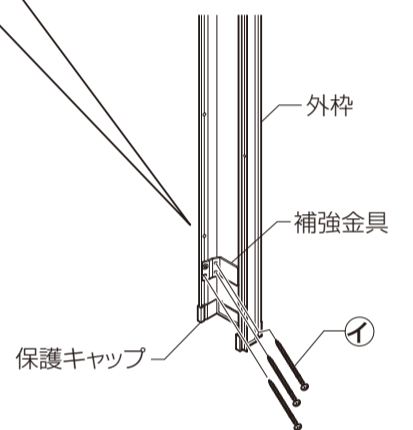
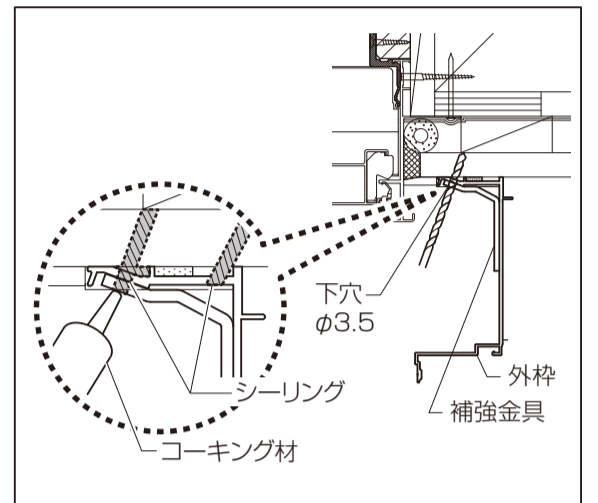
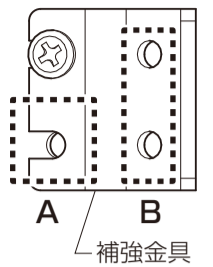
※取付け後、ねじのゆるみやガタツキ、その他使用上危険な個所がないか、点検してください。

警告

●取付けねじは必ず躯体に固定してください。シャッター本体の外れ・落下のおそれがあります。

注意

●躯体へのねじ固定は必ずφ 3.5 のドリルで外壁端部から 10mm 以上の位置になることを確認し、下穴をあけてから行ってください。また、ねじ固定は下穴にコーキング材を充てんしたあと行ってください。漏水の原因になることがあります。

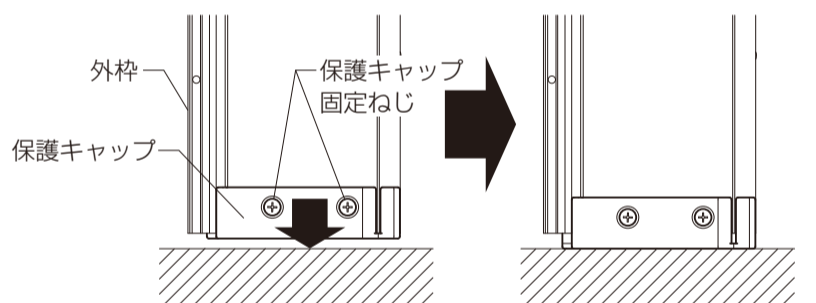


4 すき間の調整

①外枠下部の保護キャップを固定しているねじを緩めます。

②保護キャップをデッキ面(地面)まで下げ、デッキ面(地面)とのすき間を塞ぎます。

③緩めたねじを締め直し、保護キャップを固定します。



5 枠まわりのシーリング処理

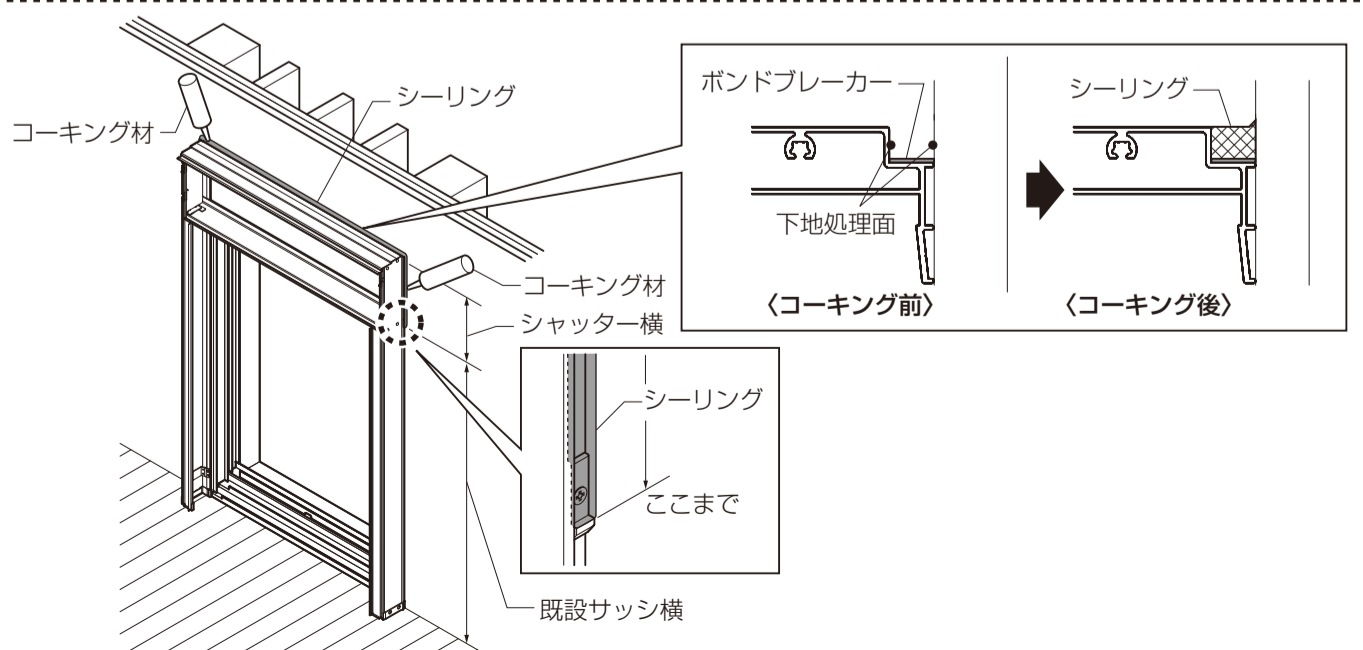
●枠まわり(3方)へシーリング処理を行ってください。

外枠と外壁はシャッター横までを必ず行い、既設サッシ横は外壁の凸凹が大きくすき間が気になる場合のみ、シーリング処理を行ってください。

注意

●枠まわりへのシーリングを行う前にコーキング材がのりやすくなるように下地処理を必ず行ってください。漏水の原因になることがあります。

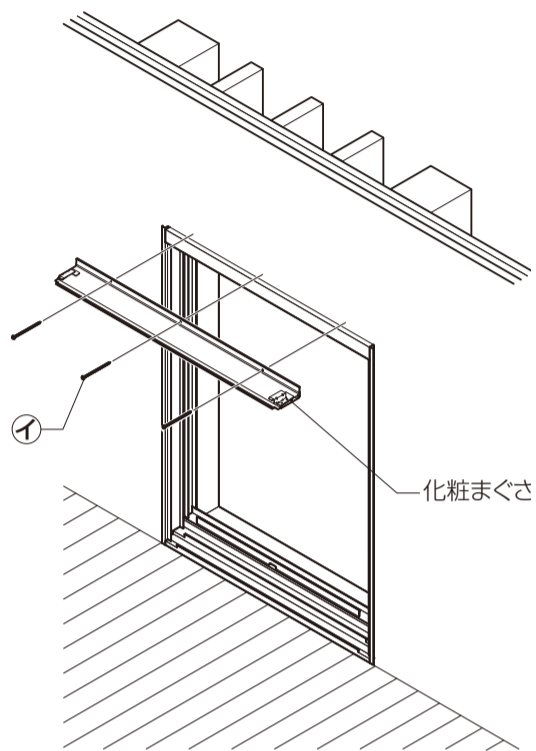
●型材に張付いているボンブブレーカーは、はがさないでください。漏水の原因になることがあります。



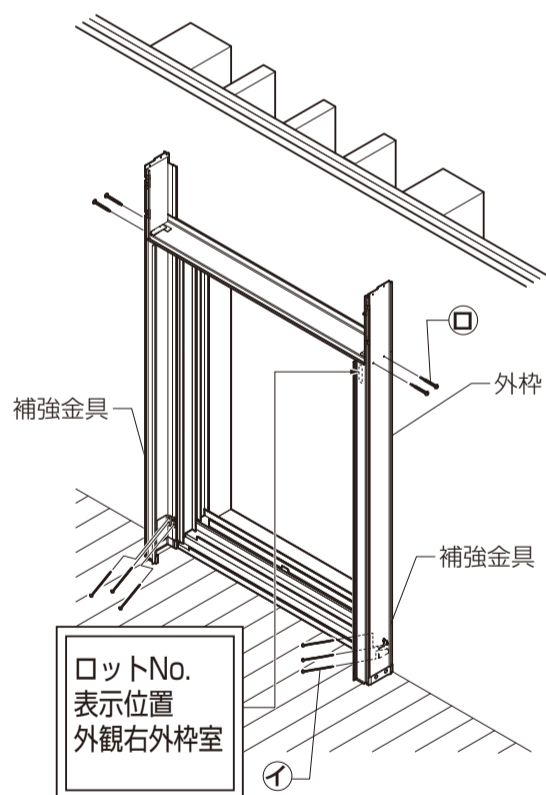
6 取付完了時の確認

■取付け順序 (部材現場付けの場合)

1 化粧まぐさの取付け (仮止め)



2 外枠の取付け (補強金具)



6 取付完了時の確認

※取付け後、ねじのゆるみやガタツキ、その他使用上危険な個所がないか、同梱の施工完了確認チェックリストで点検してください。

※本製品は壁付を基本としますので背板の取付けの必要はありません。本体取付けの際、背板は取付けなくてもよいことを、本体取付けを実施する方に必ず伝えてください。

■取付け順序 (部材現場付けの場合)

1 化粧まぐさの取付け (仮止め)

①サッシの上枠の上端と化粧まぐさの下端が2～6mmの位置関係になるように位置決めし、サッシ枠からの左右の出寸法を均等にして仮止めします。

②水準器等で水平を確かめながら、化粧まぐさにあいている穴に合わせて下穴をけがきます。

③けがきにに合わせて、壁面にφ3.5の下穴をあけ、コーキング材を充てんします。

④化粧まぐさを①のバインドコーススレッドねじで仮止めします。

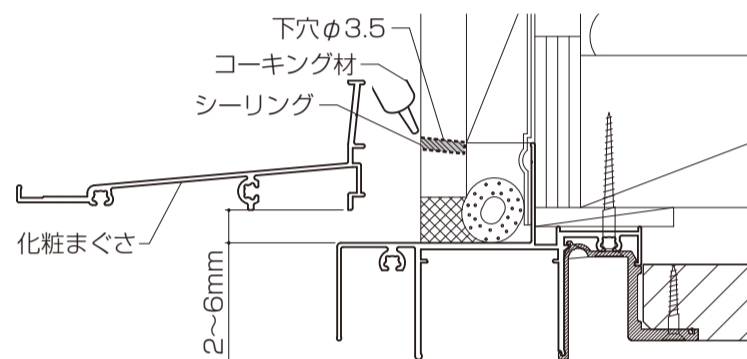
※化粧まぐさを完全に固定してしまうと外枠の組立が難しくなります。化粧まぐさと壁との間にすき間がある状態にしてください。

※柱、間柱などの位置に合わない場合は下穴をあけ直して、取付けてください。

※下地部材を使用する場合は、下地部材梱包に同梱のナベドリルねじで固定してください。(ただしその際、下穴加工は必要ありません。)バインドコーススレッドねじは下地部材の固定に使用します。

▲ 注意

● 躯体へのねじ固定は必ずφ3.5のドリルで外壁端部から10mm以上の位置になることを確認し、下穴をあけてから行ってください。また、ねじ固定は下穴にコーキング材を充てんしたあと行ってください。漏水の原因になることがあります。



2 外枠の取付け (補強金具)

以下の工程の前に、レーザー水準器等で垂直方向の墨出しを行ってください。

①左右の外枠を②のバインドタッピンねじでねじ止めします。

②外枠を墨出しに合わせた状態で、下部の補強金具の孔の位置にφ3.5の下穴をあけ、コーキング材を充てんします。(左右計6か所)

※下穴をあける際には外枠を壁面に押し付け、外枠に付いたシール材が完全につぶれていることを確認してください。

※補強金具があるためにコーキングが難しい場合には枠をずらしてから下穴にコーキング材を充てんしてください。

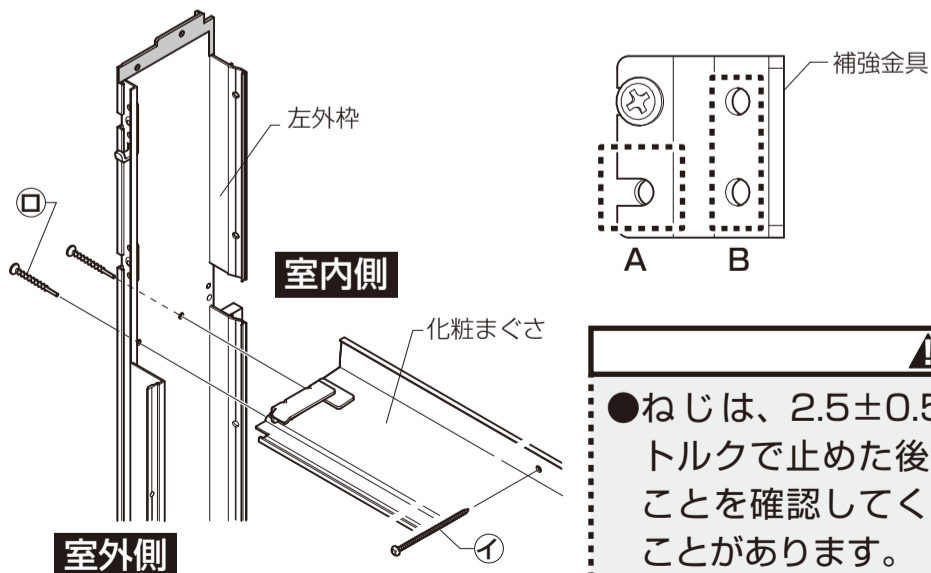
③①のバインドコーススレッドねじでどちらか一方の補強金具を固定します。もう一方は仮止めしておきます。※必ずA側のねじから固定してください。B側のねじはA側のねじの固定が完了後に忘れずに固定してください。

※B側のねじは締めすぎに注意してください。枠が開く原因となります。

④仮止めしていた化粧まぐさを固定してください。化粧まぐさ上部のねじ部よりはみ出したコーキング材はきれいにふき取ってください。

※金属サイディングなど、ねじの締込みにより直角が確保できない場合は、別売りの下地部材を使用してください。

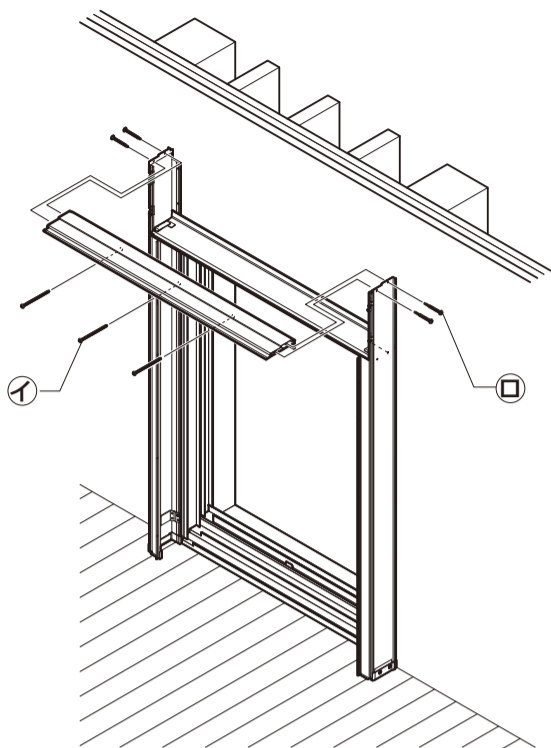
※下地部材を使用する場合は、下地部材梱包に同梱のナベドリルねじで固定してください。バインドコーススレッドねじは下地部材の固定に使用します。



▲ 注意

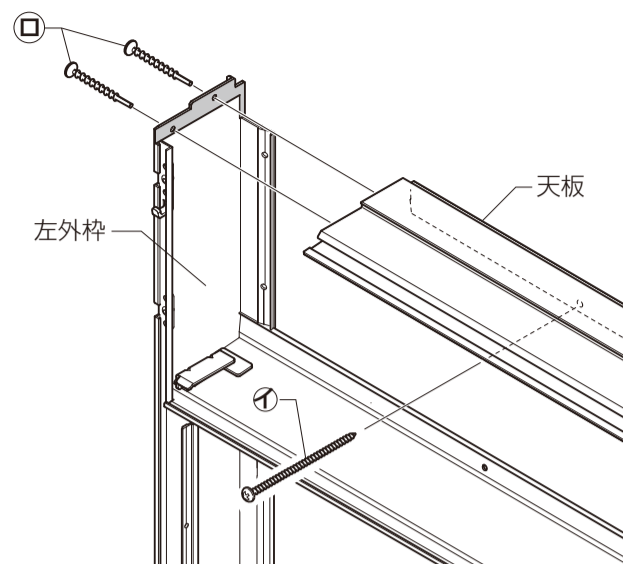
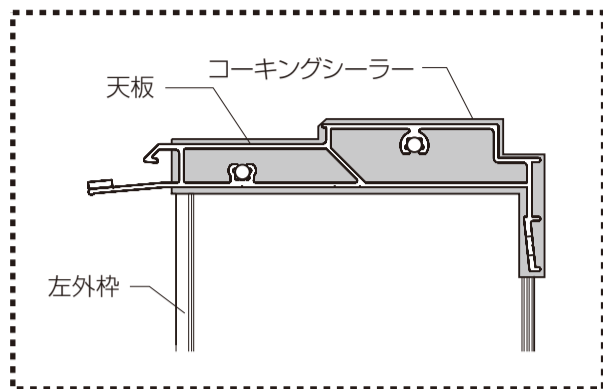
● ねじは、 $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。漏水の原因になることがあります。

3 天板の取付け



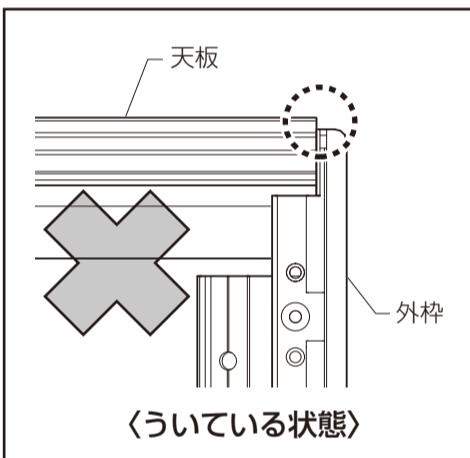
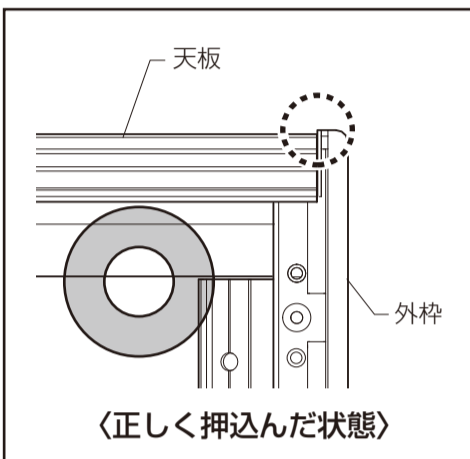
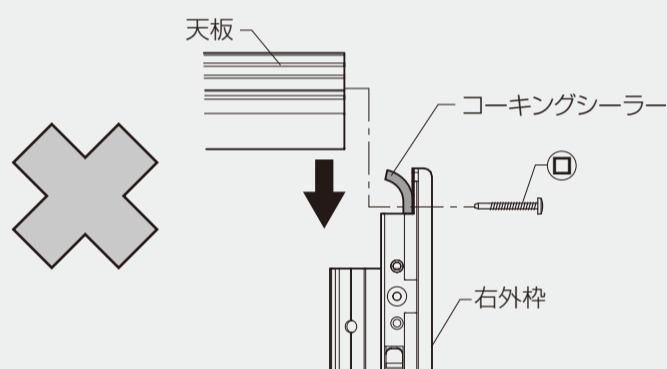
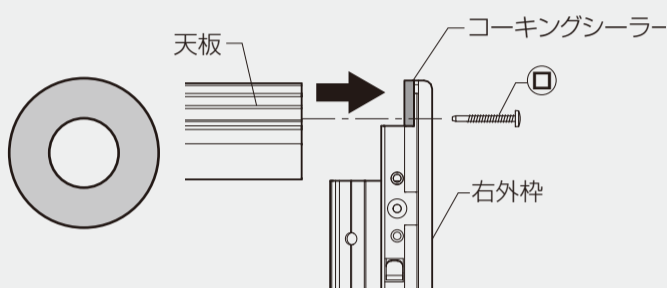
3 天板の取付け

●左右の外枠と天板をねじ止めします。



▲ 注意

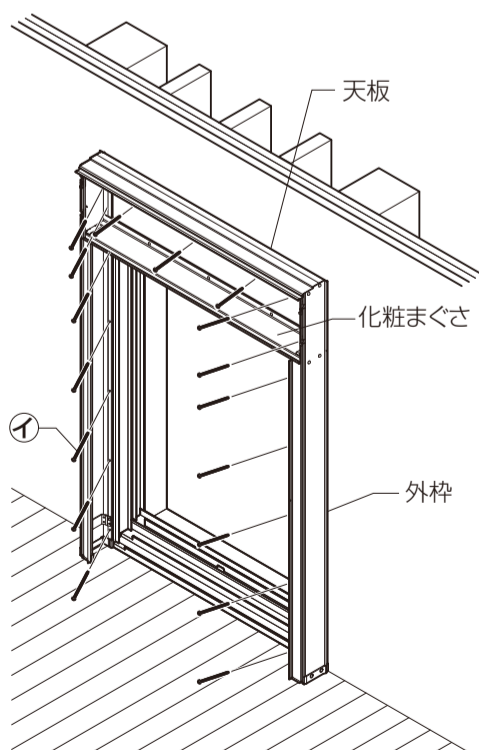
●天板に外枠を横方向から重ね合わせてください。外枠に天板を上から差込むとコーキングシーラーがめくれてしまい漏水の原因になることがあります。



▲ 注意

●外枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板の周りにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。漏水の原因になることがあります。

4 外枠・天板の取付け



4 外枠・天板の取付け

●固定していない外枠・天板を①バインドコーススレッドねじで固定します。ねじの固定は必ず下穴をけがき、φ3.5で下穴をあけコーキング材を充てんしてから行ってください。

※柱、間柱などの位置に合わない場合・既設サッシの固定ねじとぶつかる場合は下穴をあけ直して、取付けてください。

※下地部材を使用する場合は、下地部材梱包に同梱のナベドリルねじで固定してください。バインドコーススレッドねじは下地部材の固定に使用します。

●取付け後、ねじのゆるみやガタツキ、その他使用上危険な箇所がないか、点検してください。

▲ 警告

●取付けねじは必ず躯体に固定してください。シャッター本体の外れ・落下のおそれがあります。

▲ 注意

●躯体へのねじ固定は必ずφ3.5のドリルで外壁端部から10mm以上の位置になることを確認し、下穴をあけてから行ってください。また、ねじ固定は下穴にコーキング材を充てんしたあと行ってください。漏水の原因になることがあります。

※枠まわりのシーリング処理は、三方先組みの5枠まわりのシーリング処理と同じ要領で行ってください。